

## 希学園 第404回 小2公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

| 動画タイトル                             | URL   |
|------------------------------------|---|
| 第404回公開テスト 小2国語 解説動画(2026年1月11日実施) | <a href="https://vimeo.com/1153112341/f3d0002fc1">https://vimeo.com/1153112341/f3d0002fc1</a> |

|             |              |              |        |        |        |         |        |           |        |           |
|-------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|---------|--------|-----------|--------|-----------|
| 4<br>ウ      | 3<br>さき(ちやん) | 1<br>けんご(くん) | 4<br>イ | 1<br>エ | 5<br>ア | 3<br>ア  | 2<br>ア | 1<br>まつ   | 1<br>水 | ①<br>力    |
| 5<br>なすがきらい | 〔「なすきらい」も可〕  |              | 2<br>C | 2<br>ク | 6<br>ウ | 4<br>えさ | 2<br>イ | か         |        | ②<br>初日の出 |
|             |              |              |        | ③<br>ウ |        |         |        | ⑤<br>かわかみ |        | ③<br>青    |
|             |              |              |        | ④<br>イ |        |         |        |           |        | 年         |
|             |              |              |        | ⑤<br>オ |        |         |        |           |        |           |
|             |              |              |        | ⑥<br>力 |        |         |        |           |        |           |

配 点

① 各2点×5=10点

②~④ 各5点×18=90点

<計>100点

**[1]** ①字はむずかしくない。ことばとして知っているかどうかである。発電の種類には他に火力・原子力・風力・太陽光などがある。②「初日の出」とは、元旦つまり元日の朝に太陽のがばつてくること。③「青年」は年の若い男女のこと。若者。男性のことをいうことが多い。④の「赤」はこのときは「か」と読む。他にまつ白・まつ黒・まつ青などがある。⑤の「上」は「ジョウ・うえ・うわ・かみ・あ(がる)・のぼ(る)」と読む。

右高英臣『科学のアルバム キツツキの森』より

(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

1 外敵が近づきにくい場所をえらんで、入口も小さくしている → しかし → それでもほかの生き物に巣をうばわれたり、卵やひなが食べられたりする。

(前には敵をふせぐ巣のつくりかたが書かれていて、うしろには巣が敵におそわれることが書かれている)

2 「木もれ日があた」つて暖かい。「風通し」がよい。「外敵が近づきにくい」。「巣あなの前方には木が少なく、広くあいた場所である。「入口は、親鳥がやつと出入りできる大きさで」外敵に見つかりにくく、はいられにくく。「あながら雨水がはいらないように、木は少しかたむいてい」る。「そのうえ」をはさんで、六つの特長が書かれている。

3 ◎の文で「中に、はいれなくなつた」のは「おす親」である。「ひな」が「中に、はいれなくなつた」から「おす親が、巣からはなれ、ひ立ち」していることになる。「ひなが大きくなり、(おす親が)中に、はいれなくなつた」の中に、はいれなくなつた」から「おす親が、巣からはなれ、ひなだけの夜がはじまつた」のである。

4 「ひな」が「ほしがつている」ものは何だろうと考へてみてほしい。「親」は「ひなにあたえるえさを運ぶ回数」をへらしていた。「ひなを空腹にさせ、しきりに巣立ちをうながし」でいるのであつた。

5 「木の幹」に「ぶつかる」ようにして「しがみつきました」とあつた。「一度のはばたき練習もしないで巣立」つ「ひな」は、とぶのがまだ「へた」なのである。「じょうず」になつたら、ひらりととんで、ふわりと幹にとまるのであろう。

6 とぶのがまだ「へた」な「ひな」が「ぶつかる」ような「木が少な」い場所なのである。アは「はばたき練習をしない」ためということだが、「えさ」をへらして「空腹」にさせないと「巣立ち」をしない「ひな」は、もともと「はばたき練習」をすることがないのである。また、この問いは「巣の前が広くあいている」ことの理由や目的をたずねているものなので、イの「巣の前が広くあいている」が答えになるはずがない。

(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

もののように感じをあらわした擬態語の問題である。今回は同じ音を二つならべたものを集めてみた。

- ① 「すらすら」は、物事がつかえないと順調に進むようす。
- ② 「へとへと」は、ひどくつかれて、ぐつたりするようす。
- ③ 「すくすく」は、勢いよく成長するようす。
- ④ 「しとしと」は、雨がしずかに降るようす。
- ⑤ 「はらはら」は、ひどく心配して心がゆれ動くようす。
- ⑥ 「ひらひら」は、うすくて軽いものが空中にひるがえるようす。

すず きみえ『そのときがくるくる』より

1 人が気になるのは「すき」なものか「きらい」なものである。「きらい」な「なす」がいくつあるか「気になつて」しかたがないのである。「きゅうしょくのじかんが、どうどうきちやつた」とあるので、今日の「きゅうしょく」に「なす」が出ることをすでに知つていたようだから、アにはならない。そもそも「なす」は食べたくないのだし、「数えてから食べたい」というのもおかしいので、ウにはならない。

2 Aは「まいちゃん」が「にがて」な「かぼちゃ」をいやいや食べた場面。Bは「ぼく」が「きらい」な「なす」を食べられなかつた場面。Cは「なかまだとおもつていた」「さきちゃん」が「なす」を食べてしまつた場面。「うらぎられた気ぶん」にあてはまるものをえらべばよい。

3 I 「けんごくんは、なすにミートソースをたっぷりのせて」とあつた。

II 「なかまだとおもつていた」とある。「なす」が「きらい」な「さきちゃん」は「なかま」だったはずなのに、自分だけ「なす」を「ミートソースといっしょ」に「いっきに食べおわつてしまつた」のである。

4 「なす」を食べることができず、じつと見つめているのである。アのように「なす」と「かくれんぼ」するなんてできないし、食べおわつていないのでイの「あとかたづけ」もできない。そもそも「なすと」いっしょに「あとかたづけ」することはできない。

5 「りょうくん」も「のこしていいよ」といわれて「立ち上がつた」のだから、何か食べられないものがあつたようである。そして「たくまも、なす?」とたずねてきたということは、「りょうくん」が食べられないもの「も」「なす」だとわかる。